

認知症作業療法 活動報告 (概要)

青森県作業療法士会では、今年度『認知症作業療法の普及・啓発活動』の事業において最も力を入れ活動を行った。大きなイベント活動2つに加わり、その1つは県士会主催で実施。これらのイベント活動を機に、他職種からの講師依頼や行政からの認知症予防協力依頼、家族の会主催【認知症フォーラム】への協力依頼といった幅広い活動へつながっていった

その他の活動としては、初期集中支援事業、人材育成（アップデート研修会）、人材マップ作り（現在アンケートを作成中）を実施

認知症作業療法普及・啓発事業

山梨県作業療法士会から認知症スタンプラリーのノウハウをご指導いただき、当県士会でも①一般市民の方の認知症への理解を深めていただくこと、②認知症関連団体との顔の見える関係作りを目的に、八戸市にて『第1回認知症スタンプラリー』を開催した。当日は『八戸ホコ天』というイベントも同時開催されており老若男女問わず、認知症スタンプラリーにも興味をもって多くの方々が参加された。（来場者**200**人以上）協力してくれた各団体からは

- ・若い頃から認知症のことを知ってもらうことは良いことだ！
 - ・第2回認知症スタンプラリーもやりましょう！
- などの感想をいただいた

今後の課題は、認知症スタンプラリーをいかに継続していく点（主に資金面）であったが、八戸市と青森県若年性認知症総合支援センター、八戸薬剤師会などの自治体や他団体から支援をいただき、次回は共催という形で開催できることとなった

またこの活動に協力してくれた作業療法士（**30**名）にとっても人材育成の一環につながったと感じた

認知症初期集中支援事業

県内でチーム員として活躍している作業療法士は**5**名ほどオブザーバーとしての参加も数名いた

人材育成事業（アップデート研修会）

今年度は**2**回開催。延べ**35**名参加
啓発目的で対象者の範囲を広げた（医療・介護従事者）

人材マップ事業

青森県内作業療法士で認知症に関連した活動を『誰がどこでどの程度』関与しているのか把握する目的で実施する予定（今年度中に）

今後の展開

- ・認知症スタンプラリーの継続（第2回は**2020年5月31日**開催予定）
- ・シニアカフェ（八戸市独自の事業）への参加
- ・八戸市総合保健センター（仮称）内の【介護・認知症予防センター】とのつながり

